

北海道胆振東部地震発生

9月6日（木）午前3時8分頃、胆振地方中東部を震源とするマグニチュード6.7を計測する北海道胆振東部地震が起こり、震源地に近い胆振管内厚真町では震度7を記録するなど全道各地で大きな被害が発生しました。

地震発生直後から道内全域で大規模な停電が発生し、震度4を観測した本町でも日常生活に大きな支障を来しました。

地震発生後、所属課長等が役場に集合し、直ちに災害対策本部を設置。夜が明けたと同時に町内巡回を行い、被害状況の確認を行いました。建物等の被害は確認されませんが、地震発生と同時に発生した停電は、朝になつても続き、小中学校は臨時休校、町営沼田厚生クリニックは6日の外来を休診、停電により信号機が作動していないことから安全確保のためJR、北空知バス、町営バス、乗合タクシー等の交通機関も運行を見合わせるなど、町民の生活に大きな支障となりました。早期の電力復旧を待ち望んでいましたが、北海道電力(株)から「電力供給の見通しは不明」と連絡を受けたことから、健康福祉センター「ふれあい」と農村部3ヶ所の計4ヶ所の避難所を開設しました。

長時間停電が続き、地震等の情報が得られるのは、電池式ラジオとスマートフォンや携帯電話等と限られ、これらの機器も充電が無くなれば情報を得られなくなるなど、不便が生じることから、非常用自家発電で電力が確保されている役場庁舎の電力を皆さんに開放し、多くの方がスマートフォン等の機器を手に持ち来庁されました。また、停電により停止したポンプを動かすため、「建設業協会との災害協定」を取り交わしている建設業協会会員の渡部建設(株)から発電機3台をお借りして、断水している更新・恵比島、幌新地区へ給水を開始しました。7日（金）の夕方には停電している世帯へほろしん温泉ほたる館の無料開放も行いました。

	対応
避難所の開設	6日（木） 17:00～ ・健康福祉総合センターふれあい（7日2:00閉鎖） ・恵比島活性化センター（7日5:25閉鎖） ・北竜活性化センター（7日5:25閉鎖） ・共成活性化センター（7日20:20閉鎖）
携帯電話等の充電	・役場庁舎（ピーク時45名 延べ150名以上） 6日（木）15:00～7日（金）電力復旧まで ・共成活性化センター（4名） 7日（金）12:00～ 電力復旧まで
水道の給水状況	・更新地区、恵比島地区で停電によりポンプ停止により断水 発電機でポンプを稼働させ給水 ・市街地区等で給水されていない世帯へ水を届ける
停電により入浴できない方	7日（金） 15:30～ ほろしん温泉ほたる館無料開放（137名入浴）



▲「寄り添いボランティア」に参加した22名

職員3名と町社会福祉協議会等の22名が

被災地 安平町の応援に！

この地震で被災した町を支援するため、「災害時等における北海道及び市町村相互の応援等に関する協定」に基づき、多くの道内自治体職員が被災地へ支援に向かい、本町からも9月14日～15日の2日間、職員3名を安平町に派遣し、庁舎内に散乱した公文書等を整理するなどの業務支援を行い、参加した職員は大規模な地震による被害の恐ろしさを身をもって体験しました。

22日には、避難所で生活をおくる被災者の悩みや寂しさを聴くことで相手の心のケアをする「寄り添い（傾聴）ボランティア」として、社会福祉協議会会員、日赤奉仕団、民生委員、役場職員の計22名が安平町へ向かい地震の恐ろしさを体感した方々の労苦に寄り添いました。

また、10月26日（金）には、日赤奉仕団3名が厚真町へ避難所の給食（炊き出し）調理支援に向います。



▲回収を待つ、災害ごみ



▲安平町ボランティアセンター
9月22日（土）この日は約160名のボランティアの方々が全国から集まりました。

「北海道胆振東部地震」被災者への義援金にご協力を！

北海道胆振東部地震で被災された方々の支援を目的に、日本赤十字社沼田町分区では、町内の各施設に「義援金箱」を設置しています。

義援金は、日本赤十字社を通じて被災地にお届けいたしますので、皆様のご協力をお願いいたします。

- 設置施設
 - ◎ 役場庁舎 1階窓口
 - ◎ 健康福祉総合センター 1階窓口
 - ◎ 暮らしの安心センター
 - ◎ まちなかほっとタウン 物産サービスセンター